

グアテマラ経済(2009年6月)

平成21年7月
在グアテマラ日本国大使館

『6月の主な動き』

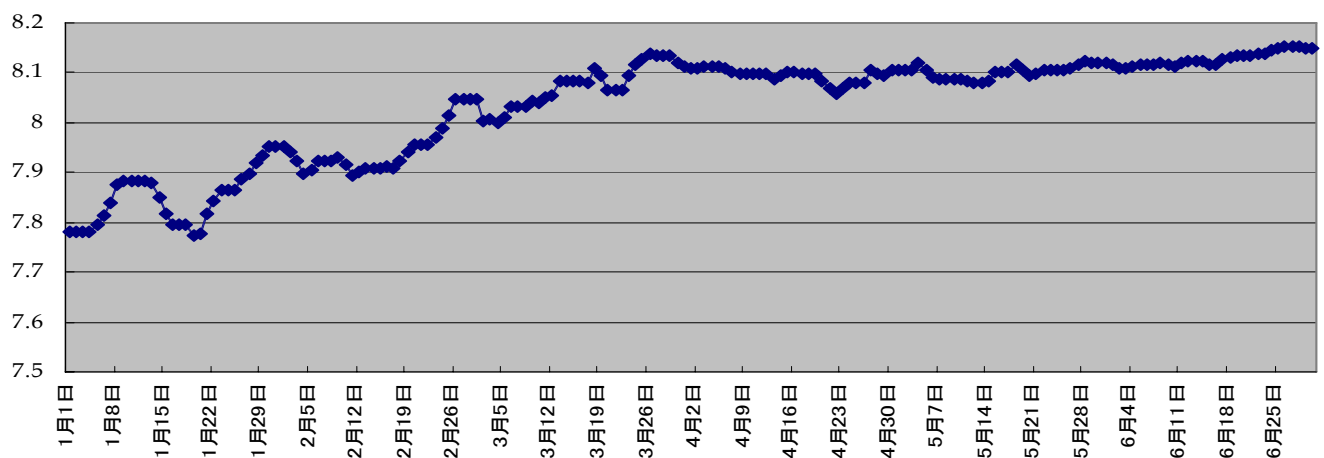
- 6月、消費者物価指数は前月比 0.04%上昇し、2009 年累積(1月～6月)では 1.09%の下落、年率(2008 年6月～2009 年6月)では 0.02%の上昇となった。
- 2009 年 1-5 月の輸出総額は 3,093.9 百万米ドル(前年同期比 4.9%減)、輸入総額は 4,396.4 百万米ドル(前年同期比 29.2%減)で、貿易収支は 1,302.5 百万米ドルの赤字(前年比 55.6%減)となった。
- 2009 年 1 月から 6 月の海外送金は 1,937 百万ドルとなり、前年同期比(2,140.9 百万ドル)で 203.9 百万ドルの減少となった。
- 8 日、フエンテス財務大臣は、2009 年度の税収見込みが 30,896.3 百万ケツアルとなるとし、3 月(同 3,596.6 百万ケツアル)、5 月(同 32,868.9 百万ケツアル)に続き再度下方修正した。
- 22 日、中米(コスタリカ・エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・ニカラグア)・パナマ自由貿易協定(2008 年 2 月署名)が発効した。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート(中銀)

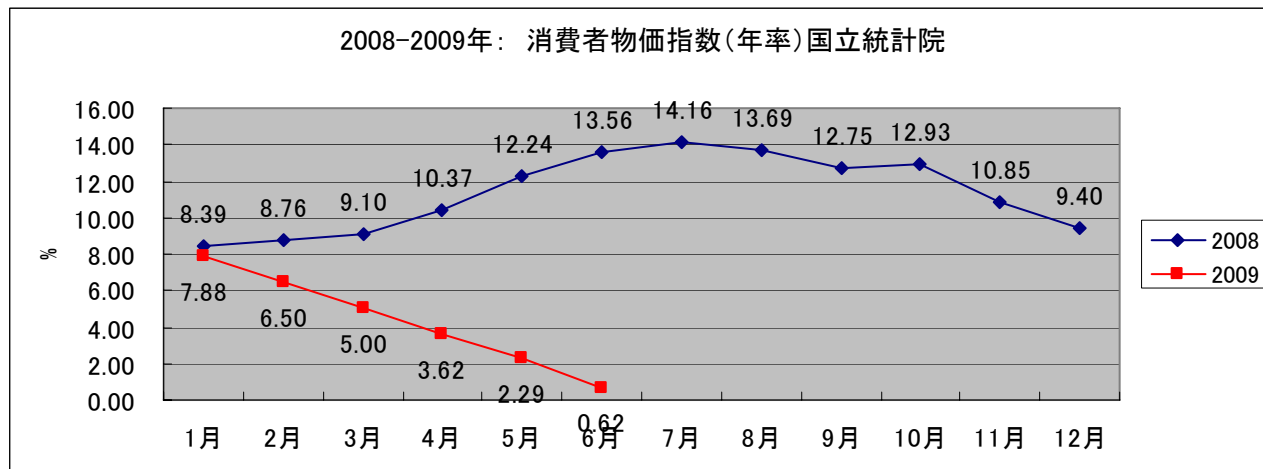
6月のケツアル対ドル相場は、1ドル=8.11-8.14 ケツアルのレンジで推移し、引き続き、ケツアル安ドル高の傾向が維持された。

ケツアル対ドル相場(2009年1-6月)

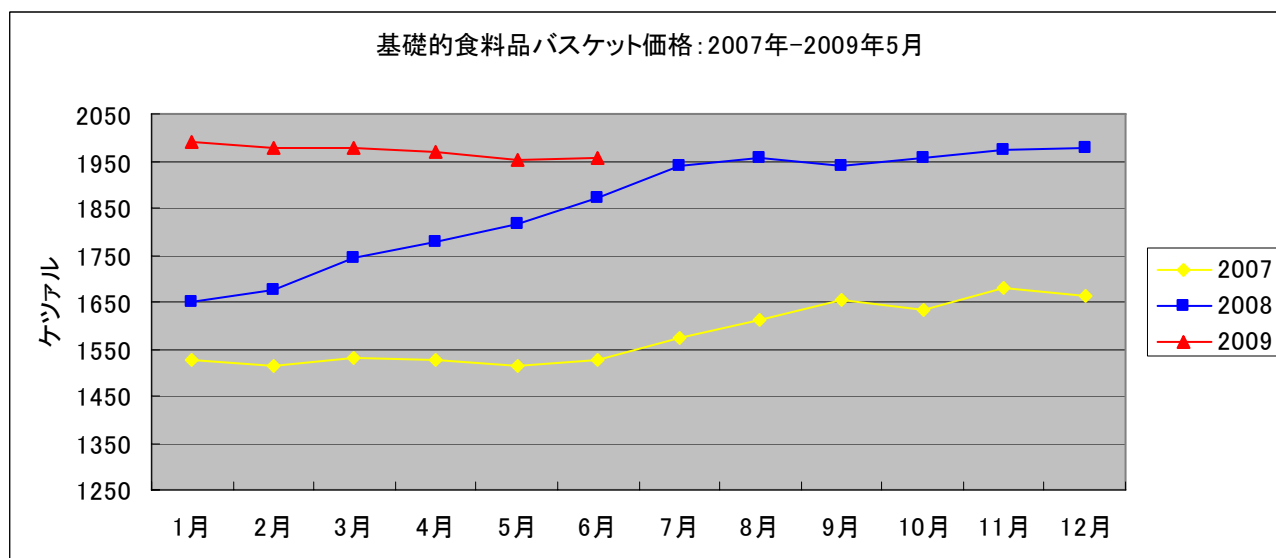


(2) 消費者物価指数(国立統計院 INE)

6月、消費者物価指数は前月比で0.04%上昇し、2009年累積(1月～6月)では1.09%の下落となった。また、年率(2008年6月～2009年6月)では0.62%の上昇となり、2009年のインフレ目標(5.5±1.0%(4.5～6.5%))を下回った。



基礎的食料品バスケット(Canasta Básica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目)の価格は、前月比でQ2.71(約0.3米ドル)上昇し、Q1,955.24/月(約241.3米ドル)となった。他方、基礎的生活バスケット(Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの)の価格は、前月比でQ4.95(約0.6米ドル)上昇し、Q3,567.96/月(約440.4米ドル)となった。いずれも、年率換算では4.40%の上昇であり上昇率は低下する傾向にあるが、消費者物価指数(年率0.62%)は上回っている。



(3) 政策金利

17日、国家金融審議会(JM)は、政策金利を5.75%から5.25%に引き下げることを選定した。2009年に入り、政策金利は5回引き下げられている(1月:7.25%→7.00%、2月7.00%→6.50%、3月6.50%

→6. 25%、4 月 6. 25%→5. 75%、6 月 5. 75%→5. 25%)。

国家金融審議会は、インフレのこれまでの減速傾向と今後の予測に基づき今後もインフレ圧力が弱まると予測されたこと、月間経済活動指標(Indice Mensual de la Actividad Economica)が景気減速傾向を維持していることから経済活性化を目指したこと等を政策金利引き下げの理由として挙げた。

(4) 貿易統計(中銀)

5月の輸出は622. 3百万米ドル(前年同月比4. 4%減)、輸入は882. 9百万米ドル(前年同月比33.5%減)。2009年1月から5月までの輸出総額は3, 093. 9百万米ドル(前年同期比4. 9%減)、輸入総額は4, 396. 4百万米ドル(前年同期比29. 2%減)で、貿易収支は1,302.5百万米ドルの赤字(前年比55. 6%減)となった。

2009年1月から5月までの輸出の内訳では、伝統的輸出産品の内、砂糖、バナナ、カルダモンの輸出の好調が続いた。伝統的輸出産品の内、コーヒー及び原油については、引き続き前年比減少となった。なお、伝統的な輸出産品の輸出額は955. 4百万米ドルに上り、全輸出額の30. 9%を占めている。

(いずれも5月までの数値)

	輸出額(百万米ドル)		前年比	輸出量(百万 KG)*		前年比
	2008 年	2009 年		2008 年	2009 年	
砂糖	95. 1	174.4	+83. 3%	359. 6	574. 5	+59. 7%
バナナ	119. 9	202.8	+69. 2%	522. 7	645. 2	+23. 4%
カルダモン	73. 1	198.3	+171. 4%	9. 5	11. 8	+24.0%
コーヒー	377.1	321.5	- 14. 8%	133. 8	132. 4	- 1. 0%
原油	137.0	58.1	- 57. 5%	1. 8	1. 8	-0. 2%

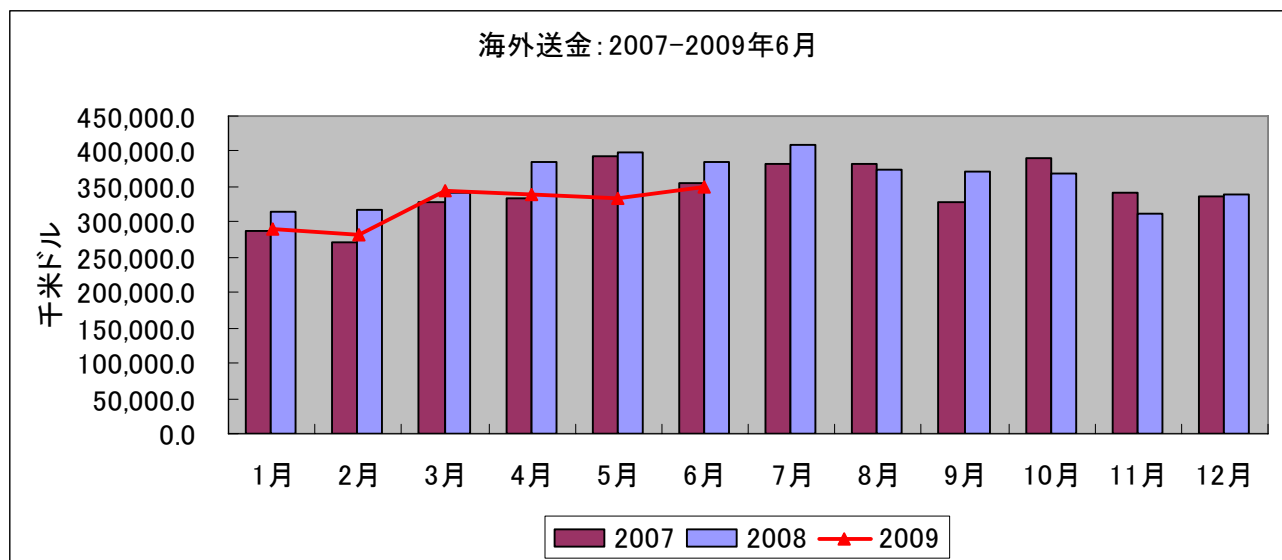
*原油の単位は百万バレル

輸出先では、最大の輸出相手国である米国向けの輸出が引き続き減少し、前年同期比 6. 9%減の1,241.8 百万米ドルとなった。中米 4 カ国向けの輸出についても減少が続き、前年同期比 10. 5%減少の853.4 百万米ドルとなったほか、メキシコ向けの輸出も同様に前年同期比 41. 0%減少し、127. 0 百万米ドルに留まった。他方、対日輸出は前年同期比 8. 2%増の66. 6 百万米ドルとなった。

同期間中の輸入の内訳では、原材料及び中間財の輸入が引き続き減少傾向となり、前年比 32. 8%減の1,511.1 百万米ドル(全輸入に占める割合は34. 4%)、消費財の輸入が前年比 15. 0%減の1,282.7 百万米ドル(同 29. 2%)となった。

(5) 海外送金(中銀)

6月の海外送金は348.5 百万米ドルで、前年同月(384. 3 百万米ドル)比で35. 8 百万米ドル減(16. 4%減)となった。2009年1月から6月の海外送金は1,937 百万ドルとなったが、前年同期比(2,140.9 百万ドル)で203.9 百万ドルの減少となった。



2. 国内経済トピックス

(1) 税収不足予測

(イ) 8日、フエンテス財務大臣は次の通り発表した。

(a) 2009年の税収が30,896.3百万ケツアルとなる見通しで、当初目標(38,448.5百万ケツアル)から7,552百万ケツアル分(19.6%)不足する見込みとなっており、今後も経済情勢が改善しない場合は税収不足はより一層深刻化する。

(b) 付加価値税及び輸入品に対する関税収入の落ち込みが著しく、所得税も減少傾向にある。

(c) 税収減対策として、とりあえずは、国会における国債1,800百万ケツアル分の発行及び国際機関による融資(米州開発銀行(IDB))1,200百万ケツアルの承認が待たれる。

(ロ) 21日、Anabela Abeur 世界銀行グアテマラ事務所代表は、グアテマラ政府に対する財政支援のため100百万ドルの融資を前倒しで行う予定である旨発表した。世界銀行はグアテマラ政府に対し2010年から4年間に行う1,200百万ドルの融資パッケージを既に決定しており、100百万ドルはこの一部である。アレックス財務省公債局長は、グアテマラ政府が世銀に対し財政支援目的で要請を行った結果、今回の融資前倒しが実現した、世銀による100百万ドルの融資については国会の承認が必要であると述べた。

(2) 新車輸入、観光客数の大幅減少

(イ) 16日付エル・ペリオディコ紙は、国税庁(SAT)のデータとして、本年5月の新車輸入台数が922台に止まり、昨年5月の2,444台に比較し著しく減少(62.27%減少)した旨報じた。2009年1月から5月までに輸入された新車は合計7,320台となり、昨年同時期(13,354台)比で45.2%の減少となった。また中古車輸入についても、2009年1月から5月の輸入台数は31,671台に止まり昨年同時期比で18.76%減となった。

(ロ) 17日付エル・ペリオディコ紙は、移民局、観光庁(INGUAT)及び中央銀行のデータとして、本年5月に当国を訪れた観光客の数が64,206人に止まり、昨年5月の77,280人と比較し17%減少したと報じた。中央銀行によると、本年5月の観光による外貨収入は78.7百万ドルに止まり、昨年5月の101.7百万ドルから減

少した。観光庁(INGUAT)は、世界的な経済危機に新型インフルエンザ(H1N1)問題が加わった影響により、観光客数が減少したとの見方を示した。

(3) 大雨による農業部門への影響

17 日、農牧食糧省は、大雨の影響で国内一部地域で農作物に深刻な影響を与えていると発表した。農牧食糧省によると、特にトウモロコシ及びトマト生産が影響を受けており、被害総額はおよそ 80 百万ケツアルと見積もられている。昨年 1 年間の当国の農作物被害総額は 228 百万ケツアルに上った。

3. 対外経済トピックス

(1) グアテマラのペトロカリブ加盟(6 月 12 日)

12日、エスパーダ副大統領(体調不良の coron 大統領の代理)は、セントクリストファー・ネイビスで開かれた第6回ペトロカリブ協定首脳会合において当国のペトロカリブへの加盟協定への署名を行った(当国は2008年7月に加盟意思を表明)。今後、当国国会の審議、批准が得られた後、発効する予定となっている。ペトロカリブ加盟により、グアテマラはベネズエラから2万バレル/日のガソリン、ディーゼル及びバンカー(工業用オイル)を優遇措置(支払額の50%は90日以内に支払い、残る50%を25年以内(支払い猶予期間2年間、利率1%)に支払う)で輸入できることとなる。

(2) 中米・パナマ自由貿易協定の発効(6 月 22 日)

22 日付ディアリオ・デ・セントロ・アメリカ紙(官報)が中米(コスタリカ・エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・ニカラグア)・パナマ自由貿易協定(2008 年 2 月署名)を掲載し同自由貿易協定が発効した。同日記者会見を行ったモラレス経済大臣は、「本日(22 日)発効したパナマとの自由貿易協定により、グアテマラの対パナマ輸出品目 5, 490 品目の 87%が、パナマからの対グアテマラ輸出については 5, 887 品目の 82%が免税の対象となる。残る品目については、今後、5、10、20 年の間に漸次免税が達成される予定である。」「パナマとの自由貿易協定には海上運輸分野での手続きや協力が盛り込まれており、グアテマラ企業がパナマ運河の施設を従来よりも安い料金で利用できるようになる。」等述べた。

(3) 国際通貨基金(IMF)技術支援地域センターの開設(6 月 24 日)

24 日、グアテマラ市に国際通貨基金(IMF)中米・ドミニカ共和国技術支援地域センター(Centro Regional de Asistencia Técnica para Centroamérica, Panamá y República Dominicana:Captac-RD)が開設された。同センターは、税・関税政策、財政運営、金融市場及び対外債務、マクロ経済統計等への助言を行う。

(了)